

県労連 あおり

2019年5月5日 第344号

発行所 青森県労働組合総連合（青森県労連）
〒030-0852 青森市大野若宮 165-19 Tel 017-762-6234

発行人 青森県労働組合総連合（毎月5日発行）定価 10 円
1992 年 10 月 30 日 第三種郵便物認可
本紙の購読料は組合費に含まれています。

第90回メーデー 市民と野党共闘で アベ内閣退陣！

5月1日、晴天の中、第90回メーデーが県内7カ所で開催され、950名が参加しました。中央集会には県中央集会



中弘南黒集会



三八集会



西北五集会



むつ集会



原発・核燃反対！ 金曜日行動350回―青森市―

4月19日、青森市駅前公園で「原発なくそう！核燃いらない！金曜日行動」が実施され、市民など16名が参加しました。

2011年3月の東日本大震災による福島原発事故の悲劇を繰り返させない思いから、原発事故の翌年の8月10日から毎週金曜日、駅前公園前で行動、今回で350回目の節目を迎えたものです。

参加者は、政府が現在8基稼働している原発をさらに再稼働させようとしていることを批判、原発・核燃サイクルからの撤退を訴え



3500回目の金曜日行動

34団体310名が参加しました。来賓として石田隆志東北労青森県本部長、国労青森支部阿部一久委員長、立憲民主党山内崇代

表、三上武志社民党県連代表、斎藤美緒共産党書記長が挨拶しました。高橋千鶴子衆院議員、田名部匡代・紙智子・岩渕友参院議員、

三村知事、小野寺青森市長からメッセージ・祝電をいただきました。

奥村榮実行委員長は主催者挨拶で、安倍政権を打倒し安倍9条改憲を阻止するために、継続して3000万署名に全力を挙げようと呼びかけました。県知事選挙にも触れ安倍自

公権言いなりの原発・核燃政策をすすめ、第一次産業をないがしろにする三村県政を転換するために、佐原候補支援の方向で検討していると言いました。サブ

元号が変わっても、労働者、そして国民の抱えている様々な問題が解決するわけではありません。■今年「選挙の年」です。参議院選挙をはじめ、様々な選挙が実施されます。私たちの意見を政治に反映させる大事な選挙権を行使し、政治を変えることで、問題の解決を目指しましょう。■そうは言っても、全国的には「無投票」となる選挙も多いようです。青森でも、横浜町、六ヶ所村及び板柳町の補選で「無投票」になっ

た。デコレーションの発表では県教組が最優秀賞を受賞。安倍内閣退陣、市民と野党の共闘で参院選挙勝利などを盛り込んだメーデー宣言の採択後、市内をデモ行進、「消費税の10%増税中止」「村度政治はやめろ」などを市民に訴えました。

■本紙が皆様の目に留まる頃には、既に時代は「令和」に入っているはずですが元号が変わることで、熱しやすい日本人は「令和フィバー」に沸いています。元号が変わっても、労働者、そして国民の抱えている様々な問題が解決するわけではありません。■今年「選挙の年」です。参議院選挙をはじめ、様々な選挙が実施されます。私たちの意見を政治に反映させる大事な選挙権を行使し、政治を変えることで、問題の解決を目指しましょう。■そうは言っても、全国的には「無投票」となる選挙も多いようです。青森でも、横浜町、六ヶ所村及び板柳町の補選で「無投票」になっ

とを痛烈に批判しました。集会後寒い海風が吹く中、繁華街をデモ行進、自民党県支部連合会のビルの前で、力強くシュプレヒコールを行いました。金曜日行動は八戸市、十和田市、弘前市、むつ市、五所川市でも取り組まれています。

案を提示しようとしていますが、野党がそれを阻んでいます。萩生田自民党幹事長代行は、「これまで丁寧やってきたが、やるしかないところまで来ている」と発言、憲法審査会を野党の反対を押し切っても強行しようとしています。

4月19日、駅前公園で11名の参加のもと、強風が吹きます。中、定例のスタンディングアピールを実施しました。観光客が参加者を激励していました。最後に市民に「戦争法廃止」「安倍内閣退陣」などを訴えました。

アベ退陣 スタンディング

県9条の会は、青森市の駅前公園で15年9月19日の安保法制「戦争法の強行成立を機に、翌月から毎月19日に戦争法廃止を掲げてスタンディングアピールをしています。八戸市、弘前市でも同様の行動を継続して取り組んでいます。



3月のスタンディング

これからの予定

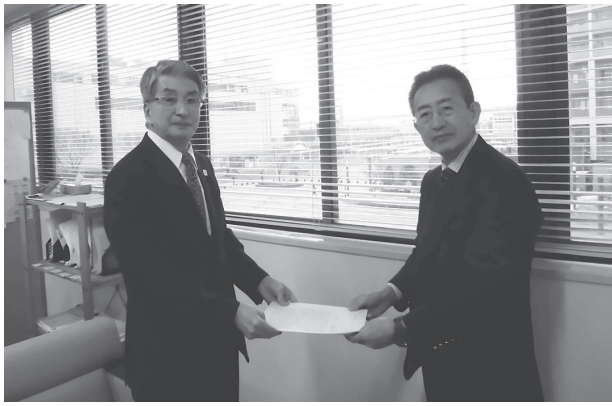
- F16撤去三沢集会
5月19日（日）13時
三沢市中央公園
青森市からはマイクロバスがです。
- 県知事選挙
告示 5月16日（木）
投票 6月2日（日）
●大間原発反対現地集会
7月14日11時（日）
大間原発隣接地

選挙は必要です。（石田）

消費税10%中止 全国一律最賃を

春闘期に実施してきた経営者団体との懇談を、3月28日に青森県経営者協会、青森県中小企業団体中央会、青森県商工会議所連合会と、3月29日に青森県商工会連合会と実施しました。各経営団体から専務理事などが対応していただきました。県労連からは奥村議長、今副議長、柳谷副議長、工藤事務局次長が参加し、特に10月からの消費税増税中止の必要性和、全国一律最低賃金制の必要性について説明し、理解を求めました。消費税増税については、昨年11月に内閣官房参与である藤井聡京都大学大学院教授が書かれた『「10%消費税」が日本経済を破壊する』という本を

経営者協会への申し入れ



紹介し、安倍内閣が任命している専門家である藤井教授自身が、「日本経済にはまだ2014年の消費税増税のインパクトが濃密に残っている。今なすべきは消費税増税ではなく、所得税の累進課税を強化し、法人税率を引き上げることだ。法人税率を上げることによって内留保が実体経済に環流され、大きな経済効果が期待できる」と指摘していることを紹介し、10月からの消費税増税中止の重要性を訴えました。経営者団体からは、消費税増税がもたらす買い控えへの危機感が述べられましたが、同時に政府が増税すると言っている以上、それに対する対策を進めざるを得ないという苦労も語られました。

最低賃金について



70名が参加した怒りの行動

「消費税増税中止! 年金引き下げるな! 医療・介護制度改悪反対! 統計偽装全容解明求める4・1怒りの集会」アピールを採択、70名の参加のもと市内をデモ行進、「消費税を10%に引き上げるな!」「大企業や富裕層に応分の負担を!」「医療・介護の改悪反対!」「年金を引き下げるな!」などを市民に訴えました。集会には青森保健生協の新採用の皆さんも多数参加しました。

消費税増税 中止!

4月1日青森市・青い森公園で、消費税が強行実施された1989年4月1日を忘れず、消費税廃止を目标として全国で展開されている「怒りの行動デー!」が県社会保険推進協議会を中心に開催されました。

主催者を代表して東青社協の医師・森明彦会長は、全世代型の社会保障のためと称して実際は大企業や富裕層の減税に利用されている消費税10%増税を全力挙げて阻止しようと訴えました。消費税をなくす会、年金者組合、青森民商の代表は、消費税は子どもや高齢者・年金生活者、中小企業いじめの大衆課税であることを強調しました。

いのちのとり で・年金裁判 勝利を

青森県は、年金削減違憲訴訟の青森年金裁判と生活保護費削減の青森いのちのとりで裁判の2つの社会保障闘争を展開しています。2つとも支援する会を結成、全県的な取り組みをしています。

4月26日、第8回いのちのとりで裁判が開かれ59名が参加しました。口頭弁論終了後、青い森公園で両裁判勝利決起集会が開催されました。この日は札幌地裁の年金裁判で全国で最初の判決が出されるという状況の下、連帯して実施されたものです。札幌地裁の岡本裁判長は、3人の証人申請を却下、年金生活者の実態も無視して原告敗訴の不当判決を出しました。

生命・医療・火災・自動車・・・

全労連共済

労働組合の助け合い共済。
民間保険と違い、営利目的ではない。
だから、「小さな掛金」で「大きな保障」が実現。
問い合わせは県労連に ☎ 017-762-6234



雨の中の決起集会

からの集会となり、年金者組合の千代谷委員長が札幌地裁の不当な判決を厳しく批判しました。デモ行進では強い風雨のため、先頭幕が破れてしまうというハプニングもありました。

一方、大阪地裁で審理されている奈良原告裁判は、原告が求めた13人の証人申請は2人を除いて全員を採用、5月8日に口頭弁論を340分かけて行うことを決定しました。来年にかけて全国で判決が出されることを予想されています。

4月になり診療時間
の減少に伴い、生活への影響が気になるこの頃ですが、春の花見が楽しみです。(今晴美・ひだまり)

3月31日で定年退職
となりました。忙しい時間から少しだけ解放され、ゆつくりと機関紙を読む時間が出来ました。そこで初めて間違い探しに応募してみました。(大川良子・健生労組)



一人べらうの人たち
を対象にした集いに彼女を誘った。おしゃべりしながら出来上がったバードコール。「講師の先生がおっしゃったように、小鳥たちが集まってくれたかな、雪が解けたら近くの山に行こう」人の中に出ることを嫌っていた彼女の言葉。ただただ私は嬉しかった。(都谷森孝子・年金者組合)

「アベ村度メディア」

が、「アベ腰巾着メディア」が、「アベ提灯メディア」が、「アベ太鼓持ちメディア」が、「アベ迎合メディア」が、今日もこの国を、この社会を跋扈している。そして公平、公正、厳正を装いながら「世論誘導調査」を行って、「アベの支持率」を高止まりさせて



まちがいは7つ



した。当選者は次の方々です。長内一(建交労)、都谷森孝子(年金者組合)、成田夏彦(年金者組合)、大川良子(健生労組)、今晴美(ひだまり)

第342回 まちがいがし

ハガキかFAXかメールで回答。氏名、住所、組合名を書いてください。余白に職場の様子や最近の出来事などを、およそ

ください。正解者の中から抽選で図書券をプレゼントします。

●締切 6月15日
●発表 7月号
●宛先 030-0852
青森市大野字若宮165-19。FAX、メールは欄外に表記。「第342回まちがいがし」係りまで。

第340回の答えと当選者《答え》①右うしろの木②右端の人のズボン③右の女性のリボン④中央女性の髪⑤左の女性の筒⑥左の男性のズボン⑦左の男性の髪

〈ろうきん〉のカードなら
ATMお引き出し手数料
全額即時キャッシュバック!

実質 **0円**

東北労働金庫青森県本部 青森市本町3丁目3-11 ☎017(777)6165